

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙



「とねろん」
利根町観光協会
イメージキャラクター

12月臨時会
1月臨時会
3月定例会

No. 150

2020.6.5

令和元年第2回 議会臨時会の議決等結果

会 期 令和元年12月25日（水）
 審議議案 町長提出議案：1件

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別														
			賛成	反対	峯山	山崎	片山	大越	石井	石山	花嶋	井原	五十嵐	若泉	新井	船川			
第81号	令和元年度利根町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

「○」は賛成、「×」は反対 を表します。
 議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

令和元年第2回 議会臨時会 議案概要

議案第81号 令和元年度利根町一般会計補正予算（第6号）……………【原案可決】
 予算額に歳入歳出それぞれ397万9千円を追加し、総額57億4,965万8千円とするものです。
 （がんばる利根町応援寄付金（ふるさと納税）の増加により増額するもの）

令和2年第1回 議会臨時会の議決等結果

会 期 令和2年1月28日（火）
 審議議案 町長提出議案：1件

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別													
			賛成	反対	峯山	山崎	片山	大越	石井	石山	花嶋	井原	五十嵐	若泉	新井	船川		
第1号	令和元年度利根町一般会計補正予算（第7号）	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

「○」は賛成、「×」は反対 を表します。
 若泉議員は所用のため欠席しました。
 議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

令和2年第1回 議会臨時会 議案概要

議案第1号 令和元年度利根町一般会計補正予算（第7号）……………【原案可決】
 予算額に歳入歳出それぞれ1,153万7千円を追加し、総額57億6,119万5千円とするものです。
 （固定資産税の課税誤りによる還付金とがんばる利根町応援寄付金（ふるさと納税）の増加による増額）

令和2年第1回 議会定例会の議決等結果

会 期 令和2年3月2日(月)～令和2年3月18日(水)

審議議案 ・ 町長提出議案 21件 ・ 請願 1件 ・ 動議 2件

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別														
			賛	反	峯山	山崎	片山	大越	石井	石山	花嶋	井原	五十嵐	若泉	新井	船川			
第2号	利根町学校給食費条例	原案可決	6	5	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
第3号	利根町監査委員条例の一部を改正する条例	原案可決	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第4号	利根町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	6	5	×	○	×	○	×	○	×	×	○	退	○	○	○	○	○
第6号	利根町子育て応援手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決	9	2	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第7号	利根町営霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	10	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第8号	令和元年度利根町一般会計補正予算(第8号)	原案可決	6	4	○	○	×	○	×	○	×	×	○	退	○	○	○	○	○
第9号	令和元年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○
第10号	令和元年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○
第11号	令和元年度利根町介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○
第12号	令和元年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○
第13号	布川地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について	同 意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号	利根町民すこやか交流センターの指定管理者の指定について	同 意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号	龍ヶ崎市の公の施設を本町住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について	同 意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	令和2年度利根町一般会計予算	原案可決	6	5	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
第17号	令和2年度利根町国民健康保険特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	令和2年度利根町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	令和2年度利根町営霊園事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	令和2年度利根町介護保険特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	令和2年度利根町介護サービス事業特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	令和2年度利根町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 第 1 号	最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書採択の請願書	不採択	1	10	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
動 議	花嶋美清雄議員の議員辞職勧告決議	可 決	6	4	×	○	×	○	×	○	○	除	×	○	○	○	○	○	○
動 議	議案第2号利根町学校給食費条例の修正案	否 決	4	7	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×

「○」は賛成、「×」は反対、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論を表します。

若泉議員は所用により途中退席しております。

花嶋議員の辞職勧告決議は、地方自治法第117条の規定により除斥されており、表決には加わりません。

議長(船川京子議員)は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

令和2年第1回 議会定例会 議案概要

- 議案第2号 利根町学校給食費条例**……………【原案可決】
安定した給食の提供及び学校給食費管理業務等に係る教職員の負担軽減のため、令和2年度から実施する学校給食費公会計化に向けて条例を改めるものです。
- 議案第3号 利根町監査委員条例の一部を改正する条例**……………【原案可決】
法の改正による新規条項の追加に伴い、条例における引用条項を改めるものです。
- 議案第4号 利根町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例**……………【原案可決】
行政手続等における情報通信技術の利用に関する法律の改正による法律名の改称及び新規条項の追加に伴い、条例に規定する法律名及び引用条項を改めるものです。
- 議案第5号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例**……………【原案可決】
法の改正により、国に準じて職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当の支給率等、町長、教育長の期末手当の支給率の規定を改めるものです。
- 議案第6号 利根町子育て応援手当支給条例の一部を改正する条例**……………【原案可決】
令和2年3月31日までに出生した支給対象児を養育している保護者を支給対象者とするため、条例の失効に伴う経過措置の規定を改めるものです。
- 議案第7号 利根町営霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例**……………【原案可決】
利根町営霊園使用者の経済的負担を軽減するため管理料の規定を改めるものです。
- 議案第8号 令和元年度利根町一般会計補正予算（第8号）**……………【原案可決】
予算額から歳入歳出それぞれ1億4,131万4千円を減額し、総額56億1,988万1千円とするものです。
- 議案第9号 令和元年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】
事業勘定予算額から歳入歳出それぞれ1億3,404万6千円を減額し、総額22億5,881万5千円とし、診療施設勘定予算額から歳入歳出それぞれ194万1千円を減額し、総額1億2,971万3千円とするものです。
- 議案第10号 令和元年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】
予算額から歳入歳出それぞれ2,139万3千円を減額し、総額を3億3,187万9千円とするものです。
- 議案第11号 令和元年度利根町介護保険特別会計補正予算（第4号）**……………【原案可決】
予算額から歳入歳出それぞれ58万円を減額し、総額を15億3,097万1千円とするものです。
- 議案第12号 令和元年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）**……………【原案可決】
予算額に歳入歳出それぞれ1,024万9千円を追加し、総額を4億8,042万3千円とするものです。
- 議案第13号 布川地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について**……………【同意】
布川地区コミュニティセンター条例の規定により、指定管理者による管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の同意を得るものです。
- 議案第14号 利根町民すこやか交流センターの指定管理者の指定について**……………【同意】
利根町民すこやか交流センター条例第11条の規定により、指定管理者による管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の同意を得るものです。
- 議案第15号 龍ヶ崎市の公の施設を本町住民の使用に供させることに関する議決事件の変更について**……………【同意】
龍ヶ崎市と締結している「公の施設相互利用に関する協定書」における相互に利用できる施設のうち、本町の施設において、「公の施設の名称」の変更と「使用させる具体的な施設の名称」の追加及び廃止を行うため、地方自治法第244条の3第3項の規定により議会の同意を得るものです。

令和2年第1回議会定例会

3月定例会

令和2年度 予算を可決

◆全会計◆
106億8,515万円

◆一般会計予算◆
60億3,609万4千円

一般会計歳入

項目	金額(千円)
町税	1,259,500
地方譲与税	88,334
利子割交付金	1,500
配当割交付金	6,500
株式等譲渡所得割交付金	3,500
法人事業税交付金	2,739
地方消費税交付金	301,000
自動車取得税交付金	1
自動車税環境性能割交付金	9,500
地方特例交付金	4,800
地方交付税	1,823,945
交通安全対策特別交付金	1,584
分担金及び負担金	20,956
使用料及び手数料	41,533
国庫支出金	536,956
県支出金	463,677
財産収入	20,183
寄附金	8,001
繰入金	550,046
繰越金	100,000
諸収入	87,639
町債	704,200
合計	6,036,094

全会計

会計名	予算額(千円)
一般会計	6,036,094
特別会計	
国民健康保険(事業)	2,188,830
国民健康保険(施設)	147,612
公共下水道事業	321,822
町営霊園事業	7,012
介護保険	1,475,066
介護サービス事業	12,140
後期高齢者医療	496,574
合計	10,685,150



一般会計歳出(目的別費用)

項目	金額(千円)	構成比(%)
議会費	91,188	1.5
総務費	877,243	14.5
民生費	1,941,212	32.2
衛生費	595,514	9.9
農林水産業費	277,243	4.6
商工費	29,817	0.5
土木費	730,930	12.1
消防費	330,700	5.5
教育費	773,908	12.8
公債費	349,665	5.8
諸支出金	33,674	0.5
予備費	5,000	0.1
合計	6,036,094	100.0

予算審査特別委員会

《報告》 予算審査特別委員会委員長 新井 邦弘

本委員会は、令和2年3月2日本会議において設置され「議案第16号 令和2年度 利根町一般会計予算」から「議案第22号 令和2年度 利根町 後期高齢者医療特別会計予算」までの7議案について付託されたものです。

予算審査特別委員会は、3月12日を除く3月9日から3月13日までの4日間、委員11名出席のもと開催し、町長・教育長をはじめ各課長及び担当職員の出席を求め慎重なる審査を行いました。

令和2年度利根町一般会計予算の総額は、60億3,609万4千円です。

次に、令和2年度利根町国民健康保険特別会計予算は、事業勘定が21億8,883万円、診療所の施設勘定が1億4,761万2千円。次に、令和2年度利根町公共下水道事業特別会計予算の総額は、3億2,182万2千円。次に、令和2年度利根町営霊園事業特別会計予算の総額は、701万2千円。次に、令和2年度利根町介護保険特別会計予算の総額は、14億7,506万6千円。次に、令和2年度利根町介護サービス事業特別会計予算の総額は、1,214万円。最後に、令和2年度利根町後期高齢者医療特別会計予算の総額は、4億9,657万4千円であります。

一般会計、特別会計の総合計は106億8,515万円で、前年度より4億429万2千円の増額となっておりますので、今後も行政改革を進め歳出抑制に努めていただきたいと思います。以上、今定例会で付託された議案は全て原案どおり可決しております。

ただし、「議案第16号 令和2年度利根町一般会計予算」においては、峯山委員から「防災事業や公共交通の充実に力を入れていない予算」である旨の反対討論がありました。表決の結果、賛成6、反対5です。

詳細は、賛成が山崎委員・大越委員・石山委員・五十嵐委員・若泉委員・そして私、新井の6票で、反対が峯山委員・片山委員・石井委員・花嶋委員・井原副委員長の5票でした。

それ以外の議案については全会一致でございます。

以上、会議規則第77条の規定により報告いたします。



動議 議案第2号 利根町学校給食費条例の修正動議

賛成少数否決

令和2年3月18日

提出者：井原 正光 議員 石井 公一郎 議員
片山 啓 議員 花嶋 美清雄 議員

<提案理由>

学校給食費を私会計から公会計に移し、給食費を町の予算として決算・監査等により管理運用を行い、また教職員から学校給食費に関する集金、未納による滞納業務等の負担を軽減し、教育時間の確保を図るものです。

主な修正としては、「学校給食費の額を教育委員会で定める」とあるものを「町長が定める」とし、「徴収業務を学校長に委任する」とある文言を削ることなどです。

採決の結果、賛成少数で否決となりました。

討論

上程された議案等に対し、下記の討論がありました。
(登壇順に記載しています)

〈 議案第5号 利根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 〉

反対討論 井原正光 議員

県南議員大会で、来賓の方から地域手当について、問題が指摘された。給料そのものを補完する地域手当について（利根町では補完）、人事院の中でも議論されている。変わったのかどうか質疑した。しかし、説明はなかった。

反対討論 峯山典明 議員

給与を改定すべきは一般職員の話であり、特別職はこの利根町において適切ではないと考えることから反対の立場を取らせていただきます。

〈 議案第7号 利根町営霊園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例 〉

反対討論 井原正光 議員

値下げすることは良いことだと思う。しかし、基金が枯渇するまで10年以上ある。であれば、全部還元してほしい。10年経てば骨の埋め方も、人の考えも変わります。

賛成討論 石井公一郎 議員

基金は、あくまでも大きな災害等があった場合の復旧費に、霊園使用者が負担しなくて済むように残した方が良い。霊園管理料4,000円を今度3,000円にする。個人負担が少なくなつて、霊園を持っている方が大変喜んでいと聞いているので、この条例改正に賛成する。

〈 議案第16号 令和2年度利根町一般会計予算 〉

反対討論 井原正光 議員

債務負担行為、令和6年度まで、2億円の闇債務を負う。過疎債の元利償還は交付金で措置されるが、人口減少の当町は全額見込めない。早尾台、もえぎ野台が1本の道でつながり経済効果が上がるが税金も上がる。数時間で終わる花火は、寄付に頼るべきだ。借金で予算を組んでいる状況で、腰を据えた改革に真剣に取り組むべきである。

賛成討論 若泉昌寿 議員

行政は、令和2年度予算を前年度10月から11月頃より組み立てている。議員に対して2月に予算内示会が実施され説明されている。3月定例会前に、我々議員個人として予算を調査することはできたと思う。一方、4日間の予算審査特別委員会では、あまり意見も述べず反対者が5人とは驚きを隠せず、私には理解ができない。今後の議会に不安がある。

反対討論

石井 公一郎 議員

町税は約12億5千万円、人件費は約15億円、町税で人件費が賄えない。一般家庭で言えば貯金を切り崩しながら生活している状況である。行政改革を進める上で、経常経費である義務的経費の削減は大変重要である。少子高齢化等により扶助費の削減は難しいと思う。人件費と公債費については、行政の努力で削減、歳入に合った予算編成をしなければ、さらに厳しい状況になる。歳出削減されている当初予算とは思えないので反対します。

賛成討論

大越 勇一 議員

令和2年度利根町一般会計予算は、議長を除く議員全員で構成する特別委員会を設置し、各担当者から十分な説明を受け、予算審査特別委員会で可決しております。行政の事務事業が停滞しないためにも、新年度、速やかに予算を執行すべきだと考えます。以上のことから議案第16号令和2年度利根町一般会計予算に賛成いたします。

反対討論

片山 啓 議員

この予算案をみるに、町税より人件費が2億4,000万円上回っている。行財政改革を前向きに進める姿勢がみられない。それに引き換え子育て支援が大幅に後退した。よってこの予算案には賛成できないので反対する。

賛成討論

山崎 誠一郎 議員

今回の子育て支援の対策について大英断をされたと、非常に勇気をもってやっていただいたと思っております。若草大橋の無料化を他自治体を巻き込んだの実施もです。人件費が町税を超えているなどは、役場のOBの議員が現役であった時もそうであったと思います。それを今さら言っても仕方ありません。行政と議会が一致団結して前を向いて一緒に知恵を絞って考えていくものと思っています。私はそういう意味から賛成であります。

反対討論

花嶋 美清雄 議員

令和2年度予算中、職員時間外手当2,729万2千円に対し令和元年度3,965万8千円、1,236万6千円の減となっており、また今回の補正33万円増、トータル4,238万1千円となっている。令和2年度の歳出合計が前年度比約5億2,000万円増により、事業増加、職員業務量増加により時間外手当の額も増加すると想像するが、今回の時間外手当の予想額は不自然である。本議案に反対する。

反対討論

峯山 典明 議員

今回の予算案では防対事業に力を入れられていません。もっと防災費に予算をかけるべきではないでしょうか。関係人口、交流人口を増やすと言いますが、予算をかけるべきところは移り住む可能性が低い人たちにではなく今利根町に住んでいる人たちへのサービスと公共交通の改善です。効果が薄いものへの無駄遣いがあり、尚且つ町民が望んでいることに予算を組むことができていない予算案に対して反対討論といたします。

動議 花嶋美清雄議員の議員辞職勧告決議

賛成多数で可決

花嶋美清雄議員の議員辞職勧告決議案

令和2年3月18日

提出者：山崎 誠一郎 議員

＜提案理由＞

花嶋議員の二親等以内の親族が経営する会社が、町が発注する除草工事を数年にわたり下請けしているとの話が各方面から寄せられ、数多くの町民も目撃したと伺いました。本件工事名は、「31道除第2号道路除草工事」請負価格「568万7千円（税込）」です。

以上のことから、令和元年12月12日開催の全員協議会において花嶋議員に真偽の程をただしました。回答では「親族に調査・確認し報告する」との返答。しかしながらその後、何の報告もなく、調査結果の報告を何度か問いただすも、「我々が抱く疑念の解決に協力する」とした言葉とは真逆で不誠実極まりなく、何の進展も示さない態度と言動です。

我々も確かめるべく町執行部への聞き取りとこの件に関する全ての情報開示を求め、開示された書類を精査したところ、町当局が受注業者に対し「下請け業者を使用した事実」及び「契約の有無」について確認した書類があり、その中に「金銭の授受」を認めた記述があったのです。まさに「政治倫理条例第17条」に抵触すると判断し、花嶋美清雄議員の議員辞職勧告を提出した次第です。

町政治倫理条例では、『人格と倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ることの無いよう必要な措置を定め、町民の信頼に応えると共に、公正で開かれた民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。』『町長等及び議員の責務として、町民の信頼に値する倫理性を自覚し、町民に対し自ら進んでその高潔性を明らかにしなければならない。』とあります。これまでの花嶋議員の言動に鑑みると、議員としてこの目的と責務が欠如していると言わざるを得ません。

また、過去においても、当時、農業委員会委員でもあった花嶋議員は農地法違反、委員としての自覚・認識の欠如などにより、平成27年9月28日、全会一致で農業委員会委員の辞職勧告を可決されています。

さらに、龍ヶ崎地方塵芥処理組合及び利根町議会での視察の際に別行動をとり公金を無駄にしたこと、またそれに加え東日本大震災で発生した瓦礫を不法投棄したことにより、平成27年11月20日、利根町議会でも議員辞職勧告を可決されております。

このように何度も「辞職勧告」を提出されるということは前代未聞であります。これまでの花嶋議員の行動や言動は、利根町の権威・信用の失墜を招くものであります。我々議員は、条例違反を看過することはできません。花嶋議員においては、議会運営委員会委員長の職はもちろん、利根町議会議員としての資質もないと判断します。

辞職勧告は拘束力がないなどと甘えることなく、速やかに自ら議員の職を辞することを勧告するものであります。

賛成討論

大越 勇一 議員

令和元年12月12日に開催された全員協議会において、花嶋議員は二親等以内の親族が利根町発注の道路除草工事の下請けをした事実があるのか調査確認をして報告するとのことでしたが、3ヶ月経ちましたが未だに回答しておりません。そこで町執行部に公文書の開示を求め、元請会社から花嶋議員の親族が経営する会社に工事代金が支払われていることを確認しました。政治倫理条例第17条に抵触すると判断し辞職勧告に賛成いたします。

反対討論

井原正光 議員

辞職勧告決議が提出されたが、説明だけでは納得できない。工事発注の際、下請けの届出は行政が承認して受けていた。指導する行政の不手際もあり、反対する。

賛成討論

若泉昌寿 議員

私も花嶋美清雄議員に対し議会運営委員会委員長及び議員の辞職勧告に賛成します。山崎議員から辞職勧告がありました。正にその通りです。花嶋美清雄氏に対する辞職勧告は農業委員会として1回、議員として2回目です。過去この様な議員はおりません。一年前の選挙で花嶋議員を信じて投票した有権者の方々に対し、どのような考えを持っているのか私には分かりません。もう一度自身を見つめよく考えていただきたい。

反対討論

峯山典明 議員

様々な情報、資料提出、ヒアリングがあったという話があり、行政の事業を請け負う際に様々な手続きがあるという発言もございました。利根町議会議員は12名しかおりません。党派ごとの控室もございません。様々な場所、時間をかけて話をする機会があったと考えます。冷静に落ち着いて資料が出揃い、それでも私たち全員が納得できる状況でなかったときに出せば良いと考えます。以上、反対討論とします。

賛成討論

石山肖子 議員

議員は利根町政治倫理条例に基づき活動を行っていかなければならない。花嶋議員の行為は、第2条の「町長等及び議員は町民の信頼に値する倫理性を自覚し、町民に対し自ら進んでその高潔性を明らかにしなければならない」、第3条の「町民全体の代表者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと」、第17条の町工事等に関する遵守事項に抵触すると判断する。

反対討論

石井公一郎 議員

花嶋議員の二親等の親族が契約をしていたとすれば、町は指導をきちんとすべきだと思う。下請けを認めてやっているのであれば、その辺が分からない。町が認めて正式な下請け業者となっているのが分からないので、今の段階では反対する。

花嶋美清雄議員の弁明

私は町に入札の辞退届も出していることで、弟とは会社も別で、何をしているかも分からなかった。下請の内容も分からない。何でも文書で残そうと思っているが、現状では分かっていない。議会での可決という結果を重く受け止め、今後はこのような疑惑を持たれないように政治活動を行っていきたい。

請願第1号

最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める 意見書採択の請願書 賛成少数で不採択

請願者：茨城県労働組合総連合議長 白石 勝巳
紹介議員 峯山 典明

＜請願趣旨＞

私たちは全国労働組合総連合（全労連）をナショナルセンターとする地方組織である茨城県労働組合総連合（茨城労連）です。私たちは、県内の労働者の生活と権利の向上を求め、非正規雇用労働者の均等待遇、最低賃金引き上げ等の実現をめざして活動しています。

昨年10月1日から、茨城県の最低賃金は27円引き上がり849円になりました。しかし、この金額は全国加重平均時給（901円）に比べて52円低く、関東1都6県の中で下から2番目の低さです。東京や神奈川では、最低賃金が1000円を超えています。日本の最低賃金制度の問題点は、①最低賃金が低すぎて生活できない、②全国一律制でないため最低賃金の高い都県に労働者が流出する、③中小支援策が不十分、の3つです。茨城県の最低賃金849円では、憲法25条が保障する「健康で、文化的な最低限度の生活」ができず、消費意欲が抑制されて地域経済に悪影響を及ぼしています。最低賃金の引き上げは、地域経済の発展につながり、健全な社会づくりの基本であると考えています。茨城県の最低賃金が現状のままでは、若者や女性を多く含む非正規雇用労働者が低賃金状態におかれ、労働力の流出、地域経済を疲弊させることに繋がってしまいます。また、最低賃金が低いままでは、県内を含め全国で問題になっている人手不足をますます深刻化させるだけです。

以上のような理由で、貴議会において茨城県の最低賃金の引き上げについての議論を深め、下記の事項の実施を求める意見書を採択し、政府及び関係機関に意見書を提出されることをお願いいたします。

1. 政府は、全国一律最低賃金制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。
2. 政府は、ワーキングプアをなくすため、政治決断で最低賃金を時給1500円に引き上げること。
3. 政府は、最低賃金の引き上げとセットに中小企業への具体的支援策を拡充すること。

▽報告 総務産業建設常任委員会委員長 井原 正光

総務産業建設常任委員会に付託された請願の審査の経過と結果を報告いたします。

当委員会は、3月12日（木）午後1時30分から紹介議員と委員全員の出席のもと開催を行いました。

主な質疑応答は次の通りです。

第1項目「政府は全国一律最低賃金制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めること」

（委員）企業が多数立地している地域とそうでない地方では、企業の業績も変わるので、賃金の格差は当然生まれる格差分は国が負担することとなり、財源の捻出が懸念される。

（紹介議員）消費増税の用途は、16%しか福祉に当てられていない。企業法人は累進課税になっていない。その減税分を賃金の補填に充てていただきたい。

第2項目「ワーキングプアをなくすため、政治決断で最低賃金を時給1,500円に引き上げること」

（委員）時給1,500円は高過ぎる。

(紹介議員) イギリスの例だと生産性が向上し、失業率が下がった。また、家庭を持ち子供を育てることに何年待てばいいのか。初任給が少な過ぎる。

第3項目「政府は最低賃金の引き上げとセットに中小企業への具体的支援策を拡充すること」

(委員) 「誰もが平和で人間らしく働き暮らせる社会へ」という気持ちは分かるが、これを国が負担するとなれば破綻してしまう。

(紹介議員) 家庭、人間環境を支え合ってもらえない方が大勢いる。どうあがいてもはい上がれない方もいる。その人たちを助けるのが、政府です。中小企業への支援策は、消費税法人減税だと思う。

最後に全体的な質疑について。

(委員) 時給1,500円で雇用した場合、東京都は時給1,013円、千葉県が時給923円、茨城県では時給849円、全国平均時給901円です。その差額を国が負担すると膨大な財源が必要。国は、1,000兆円もの負債を抱える中、現実的ではないし、地方企業は時給1,500に引き上げる体力はない。

(紹介議員) 茨城労連は、税や社会保障料の事業主負担を軽減し、最低賃金引き上げを具体化していく。

以上のような活発な議論がなされ、さらに討論の中で「財源確保が明確でない」との意見が複数あり、採決の結果、請願に賛成する委員はなく「不採択とすべきもの」と決定いたしました。

ICT化特別委員会設置

令和2年3月18日

提案者：山崎 誠一郎 議員

<提案理由>

ICT分野の技術進歩は非常にめざましく、社会構造自体が近年大きく変わろうとしております。ここ10年でコンピューターの処理能力はおおよそ10倍以上、メモリ容量は100倍以上、通信速度も50倍以上となっております。こうして各能力が進歩すれば、当然、教育、農業、交通、観光、医療、福祉、環境、議会等の社会に与える影響は大きくなります。

利根町議会においても、以前よりICT化について協議しておりましたが、今定例会において正式に設置したいと考え提案します。

目的は、主に議会ライブ中継とタブレット導入に向け調査検討するものです。特に、今定例会でも新型コロナウイルス感染拡大の影響により、傍聴を制限し、町民の皆様に大変ご迷惑をおかけしております。こうしたことも考慮し、町民の皆様に議会を広く知っていただくこと、また届けることが我々議会の責務であると思えます。

さらに著しい進化が予想されるICT及びAI等を活用した児童生徒への教育環境や町民生活の利便性向上への提案など、今後の行政に反映させるべく活動するものです。

◇ICT化特別委員会(8名)

委員長 山崎誠一郎 議員

副委員長 大越 勇一 議員

委員 峯山 典明 議員 石山 肖子 議員 五十嵐辰雄 議員

若泉 昌寿 議員 新井 邦弘 議員 船川 京子 議員

町政のここが聞きたい 一般質問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 町道 103 号線の進捗状況について

答 概ね予定通り進んでいる

若 泉 昌 寿 議員

問 町道 103 号線は平成の合併の時に計画された事業で、龍ヶ崎市との合併が実現されずこの計画も凍結しておりました。しかし、平成 29 年、佐々木町長になってからは、町長の努力が功を奏し全て県費で行う県事業として始まることになりました。この事業の進捗状況と、大平地区など町道 103 号線沿線の今後の開発計画等について伺います。

答 町内の地域間交流の促進を図るため、羽根野台、早尾台、もえぎ野台地区を結ぶ町道 103 号線の延伸整備については茨城県が利根町にかわり過疎代行事業として実施している。進捗状況は、台風災害等により若干の遅れはあるものの順調に進んでいる。今年度は用地測量を実施、2 月からは土地地権者との境界確認作業を開始する。また、103 号線が開通した後の開発等を考慮し、新年度予算に地区計画策定業務委託について計上している。今のところ令

和 3 年度までに計画が策定できるよう進めていく。

問 国体のウォーキング大会は成功したと思います。私はこの大会の継続を望みます。なぜなら、健康づくりはもちろん、県内外の皆様に利根町を知っていただき交流も図れる良い機会だと思うからです。町の考えを伺います。

答 町としては、ウォーキング大会を一過性のイベントとして終わらせることは考えてはいない。令和 2 年度にスポーツ推進委員会、利根町歩く会等の方々にお願ひし実行委員会を立ち上げ実施内容等を協議して、誰もが楽しめる企画を進め健康増進・体力向上を図り、町内外の方々に利根町の魅力を発信できるよう令和 3 年度実施を目指している。

問 クラウドファンディング導入について

答 独自性のある事業計画が必要となる

大 越 勇 一 議員

問 クラウドファンディングとは、個人や団体の企画立案者が、インターネットを通じて不特定多数の支援者から事業実施のための財源や活動資金を調達する手法です。クラウドファンディングは、インターネットの普及に伴い 2000 年代のアメリカで始まり、先駆的なサービスが次々と登場し、市場は急速に拡大しました。形式も基本的な寄付型、購入型、融資型、株式型、ファンド型の五つと、ふるさと納税型を組み合わせた六つのタイプが存在しています。

ふるさと納税型クラウドファンディング導入について伺います。自治体が解決したい課題を具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人から、ふるさと納税によって寄付を募る仕組みのクラウドファンディングです。ふるさと納税の仕組みを使うことで寄付金の控除を受けられるのが特徴になります。利根町の財政も人口減少や高齢化社会による労働人口の減少に

より厳しい状態が続いております。行政運営を持続可能にするためには、税収を補充する意味で税外収入を増やしていく取組みが必要です。ふるさと納税の制度を活用して利根町に新しい資金の流れをつくってはいかがでしょうか。町の考えを伺います。

答 地域で抱える問題解決や新たな事業遂行の財源として、全国の自治体で、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングが導入されております。給付の目標額をあらかじめ設定し、事業に賛同した方から寄付を募るというものですが、そのためには、全国の方から共感を得られる独自性のある事業計画が必要となります。現在、当町におけるふるさと納税については、寄付額が順調に増加している状況であり様々な施策実現において、必要な場合には対象事業を増やして対応していきます。

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 農業者年金の加入促進の取組みは

答 農業委員が戸別訪問し制度説明を行う

五十嵐 辰 雄 議員

問 長寿社会を迎え、人生100年時代と言われております。老後は2,000万円の貯蓄がないと安心できないという問題が報道され、老後の年金への不安が高まりました。国民年金に上乘せする農業者年金は、農業者の老後生活の安定には欠かすことができない制度です。

農業の持続的発展を図るには担い手の確保にあり、農業者年金の加入推進に携わる農業委員会の役割は極めて重要であります。加入推進に向けたPR及び取組みを伺います。

答 農業者年金は任意加入制度ですが、加入資格がありながら制度や内容を知らなかったという事がないように、加入資格のある方に対し、農業者年金の周知に努めております。

加入推進の時期や目標を毎年度定め、加入要件に該当する方を対象に農業委員によ

る個別訪問を実施し、加入意向の聞き取りやパンフレットの配布をしております。また事務局にチラシを設置し、町広報紙へ掲載するなど制度の周知に取り組んでいます。

問 2020年度から2024年度までの5年間を期間とする『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定しました。国が進める持続可能な自律的好循環の都市形成には『環境未来都市・SDGs未来都市』の選定に応募する考え方をお尋ねします。

答 地方創生こそが急速な人口減少による過疎化や少子高齢化など、当町が抱える様々な課題を解決し、町を活性化させる原点です。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と位置付けた施策を着実に実行することが、SDGs未来都市建設に結びつくものです。

問 水防団配置中の町長の行動は

答 14日から鳥取県に出張していた

花 嶋 美清雄 議員

問 12月の議会で質問した台風時の町の行動に関し、町長の10月14日の詳細について再度質問する。

答 21号の際に見回りを行ったと述べたが、この時期に相次いで台風が発生していたことから台風19号と21号との日付を勘違いし、改めて確認したところ、10月14日の月曜日は出張していた。県南町村会の地方行政等視察研修会であり、14日から3日間の研修。視察先は鳥取県江府町及び北栄町である。14日6時15分に自宅を出発し、羽田発9時35分の飛行機で鳥取空港に出発し、16日に帰町した。

問 12月の議会で答弁した、水防団を解除した14日の11時30分には、町長は不在で間違いはないか。

答 間違いはない。

問 町長不在の中、水防団の警戒解除は誰が行ったのか。

答 水防に関しては、稲敷広域消防本部で対策本部の設置には至らなかった。そのため消防団長と消防署長で協議し水防の解除を行った。



問 若草大橋の時間帯無料化について

答 朝8時までの2時間の実証実験を行う

山 崎 誠一郎 議員

問 新型コロナウイルス対応について県内で最初に対策本部を設置し、職員自ら予防啓発チラシのポスティングをしたこと、素晴らしい対応でした。さて、町長は9月議会で、近隣自治体と協議し午前6時から8時までの若草大橋無料化の実現に努めると発言しましたが進捗状況を伺います。また、龍ヶ崎市と河内町のみならず、牛久市、阿見町、美浦村と共同し、千葉県側自治体に協力要請をすれば、より長い時間の無料化実現と栄橋の渋滞緩和に繋がるのではないのでしょうか。

答 昨年12月に大井川知事に対し、龍ヶ崎市市長及び河内町長と一緒に要望書を提出しました。前例同様に地元において通行量の減収分を補填してほしいとの回答でした。このことから龍ヶ崎市、河内町と協議し、まずは令和2年度利根町単独で4カ月の平日の朝8時まで無料化実証実験を行い効果検証をした後、無料化実施の判断

をします。龍ヶ崎市、河内町とは、近隣自治体を巻き込んでいければと話しています。千葉県側の5市町とも実証実験の結果で働きかけていくことになっています。

問 公益財団法人日本桜の会から表彰を受けた桜づつみと保存会に対して知名度アップ等の支援について伺います。

答 (企画課長) 町の公式 Facebook などの SNS を通じて開花情報などを発信しています。今後は利根町まち歩きマップ等でも観光スポットとしてPRします。年間を通じて維持管理に尽力されている保存会の活動と桜づつみをあわせて広くPRしていきます。



問 シティプロモーションの基本方針は

答 定性的分析も必要だと考えている

石 山 肖 子 議員

問 シティプロモーションは、関係人口をターゲットとした第2段階にステップアップしてきているが、利根町での基本方針と具体的な取り組みは。

答 SNS などの広報媒体を効果的に活用し、町の魅力を共感・共有するサイクルを生み出したい。「シビックプライド」はインナープロモーションを行う上で重要なキーワードとなる。楽しい思い出が作られるイベントやワークショップを実施していく予定である。

問 利根の桜の花みこしのような継続的なイベントの指標値の掲げ方は。

答 シビックプライド、町の認知度・魅力などを評価する場合、数値にフォーカスした定量分析だけでなく、数値にあらわれない部分について定性分析も併

せて行うことが必要だと考えている。広報誌や町公式 SNS を大切なコミュニケーションツールだととらえ、より身近な情報発信に努めている。町公式インスタグラムでは、ハッシュタグ、利根スタグラムをつけて投稿するというルールが浸透しつつある。

問 町民や関係人口の推奨意欲、参加意欲、感謝意欲の数値化という考え方をもとに、地域参加意欲の総量を PDCA サイクルに活用してはどうか。

答 地方創生総合戦略でも関係人口をふやすことを重要視している。町のブランドイメージを作っていきたいと考えている。

持続可能な開発目標 (SDGs) 11、17



一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 令和2年度予算編成をどう行ったか

答 当初予算に対しての一般質問には疑問

石 井 公 一 郎 議 員

問 令和2年度予算では、過疎債は昨年度より多く、約5億5千万円を借りて歳入に充てても財源不足が生じて、基金も取り崩している。町長は選挙時に利根町が過疎地域に指定されたので、手を打たずに放っておくと町は財政破綻すると言った。当町は厳しい財政状況にあり、その上で予算編成を行ったと思うが、今の財政状況をどのように分析し予算編成を行ったのか。

答 当初予算に対して一般質問を行うことに疑問がある。議案については質疑の時間もあり、その中で質疑すべきもの。一般質問とは何に対してすべきなのかを議長を始め議員の方には今一度考えていただきたい。一般質問に対応する職員は残業で答弁書を作成している。人件費で削減を主張する議員もいるが、そういうことを考えて議会運営に当たっていただきたい。質問については、今回は答えます。限られた財

源、人員を有効に活用し、行政各分野においてスピード感を持って質の高い行政サービスが提供でき、住民満足度の向上が図れるような町政展開を目指しております。

問 町長は議案で出しているのだから一般質問するのはおかしい。私はそのようなことは全然思っていない。町長は自分の考えで、予算編成を行ったことをきちんと話してくれればそれでいいんです。

答 12月の議会で予算編成方針は話しています。

問 令和2年度予算で、昨年度と比べて経常経費の削減や事業の見直しは

答 決算ベースでの不用額や既存の事業は各課で分析に努め、徹底した経費削減を図るよう指示している。

問 第二の夕張にならないための施策は

答 健全化判断比率は適正值だが厳しい財政

片 山 啓 議 員

問 ウエルネス大学の野球場樹木伐採時の1. 安全対策、2. 周知の方法、3. 防護ネットの高さの測定

答 1. 道路法上の基準によるよう指示、2. 伐採開始後自治会に文書で報告、3. 今後実測する

問 防災無線は災害時には殆ど聞こえない。1. 住宅用防災無線の設置は。2. 各区に1～2台の設置については。3. 要支援者への周知の方法

答 1. 費用面から各戸への設置は考えていない。2. 1～2台は考える。3. 原則民生委員に願います。後は共助(隣近所)に頼む。

問 第二の夕張にならない為の具体策は

答 健全化判断比率が適正值であり、夕張のような財政運営ではない。しかし毎年基金を取り崩し予算編成を行っていることから厳しい財政状況である。経常経費の削減や事業の見直しを行い持続可能な財政運営に努める。

問 生徒の学力向上には先生の能力向上が欠かせないがその方策は

答 国、県の研修を受けることは勿論のこと教育委員会としても指導室を中心に、学校訪問での助言、小中連携推進委員会、情報教育研修会、生徒指導連絡協議会など20以上の研修等を実施している。

問 有機農業の推進が重要ではないか

答 JAや出荷業者と連携し考えていく

新井邦弘議員

問 現在、全国で広がっている健康ポイント制度がある。これは医療費削減が目的であり、例えば各種検診を受けた人、町が主催するスポーツ大会、教室、健康づくりイベント等の参加者にポイントを与え特典を贈るもの。町でも医療費削減に向けた取り組みが必要だと思うので、健康ポイント導入の考えを伺う。

答 町独自の制度はないが、県が令和元年6月から運用を開始した『いばらきヘルスケアポイント事業、元気アップ！いばらき』を活用し、健康づくりに取り組めるようになってきている。町民の皆様が県のアプリを取得し健康づくりに取り組んだ内容を入力するとポイントが付与され、貯めたポイントに応じて景品当選のチャンスがあるという仕組み。利根町の登録者数は令和元年9月13日で46名。このアプリ利用状況を見ると、町単独での導入の予定は

ない。

問 有機農業推進では農地全体を一つの生態系として捉え、多様な生き物が暮らせる環境を重視する。生き物同士の複雑な環境を大切にする栽培管理によって土の生命力を維持すれば栄養素の不足が生じず、病原菌や害虫の爆発的な発生が起きない農地が実現する。利根町の農地は住宅地に隣接しているところが数多くある。都市型農業を推進していく上でも環境にやさしい有機農業への取り組みが今後ますます重要性が高くなるのではないかと課題は何か。

答 町が把握している有機栽培を行っている農家は10軒。大規模に農業を経営する生産者には有機農業の生産は難しい状況にある。今後、町だけでは解決できないので、JA水郷つくばや出荷業者なども必要なので、連携しながら考えていく。

問 子供たちの望まない受動喫煙について

答 喫煙場所は害の無い所に変更してもらおう 峯山典明議員

問 小中学校の運動会等で子供や保護者の通り道が喫煙所となっており、健康を損ねている。望まない受動喫煙を防いで欲しい。煙が子どもと保護者に流れていかない遠い場所に設置することを検討していただきたい。

答 運動会等では道路等の敷地外で喫煙をお願いしているところですが、受動喫煙となる恐れがある場所については学校側へ喫煙場所の変更をお願いしたいと考えています。

問 令和2年4月1日から健康増進法が改正されます。厚生労働省健康局健康課健康指導係によると、敷地外であっても正門に手が届く所であれば喫煙を認めてはいけなとおっしゃっています。文部科学省HPには受動喫煙対策というページがあり、屋外でも通学路等の空間において

は子どもたちへの受動喫煙の被害を防止する措置を講ずることとあります。健康増進法のHPには喫煙を防止する取り組みはマナーからルールへと変わりますと記載があります。喫煙所は子どもたちが決して煙に触れることがない場所にすべきだと考えますが、いかがでしょうか。

答 受動喫煙の被害を被らない場所ということでは正門前は普通に考えてよくない。被害のない所を学校側から場所の指定をしていただくというのが一つの考えだと思う。学校に変更、また場所指定していただければ連絡はしたいと思っています。



一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 新型コロナウイルス対策について

答 不測の事態に備え、体制を整備する

井 原 正 光 議 員

問 新型コロナウイルスが世界中に拡大している。対応についてお聞きする。

答 感染症対策本部を設置し不測の事態に備え、情報の収集と迅速な行動をとれる体制を整備する。本部長に町長、副本部長に診療所の医師を据える。

(教育長) 感染症の拡大防止を第一に学校行事を縮小。3月4日から休校する。子供達には、ドリル・復習など課題を出した。

(学校教育課長) 児童クラブの利用は、突発的事情の場合は、月曜日から金曜日までの間、8時半から4時まで通っている学校で、先生が対応する。

(財政課長) 公共施設は、各フロアに手指消毒液で対応、検温は実施しない。

(福祉課長) 介護施設等は、病原体を『持

ち込まない、持ち出さない、広げない』ことへ配慮し、施設職員と入所者との対応など適切な注意をお願いした。

(国保診療所事務長) 診療所は、問診票記入、発熱の場合は自家用車での待機、その後症状を聞き取り保健所に相談支持を仰ぐよう説明している。

(保健福祉センター所長) マスクの備蓄数は8,560枚で、役場の機能維持のため職員がつけるものです。

(子育て支援課長) 保育所等は、原則開所。園児等が罹患したときなどは臨時休園。子供の体温、健康状態の確認を行い、発熱や咳等の症状がみられたら、登園を避ける。

議 会 活 動

利根町議会議員行政視察

○参加議員：船川・新井・若泉・石山・大越・山崎・峯山

令和2年1月21日(火)栃木県芳賀郡芳賀町行政視察を行いました。

当日は、14時から廃校施設を活用してできた芳賀町生涯学習センターにて活用に至るまでの経緯の説明を受け、その後に意見交換を行いました。廃校問題を抱える当町にとって、今後の調査研究を行っていく上で、とても参考になる貴重なお話を伺うことができました。



令和元年度 町村議会議員自治研究会

○参加議員：船川・新井・若泉・五十嵐・井原・石山・石井・大越・片山・山崎
令和2年2月20日（木）茨城県市町村会館 1階「講堂」において県内町村議会議員の参加のもと、町村議会議員自治研究会が開催されました。

▽研究

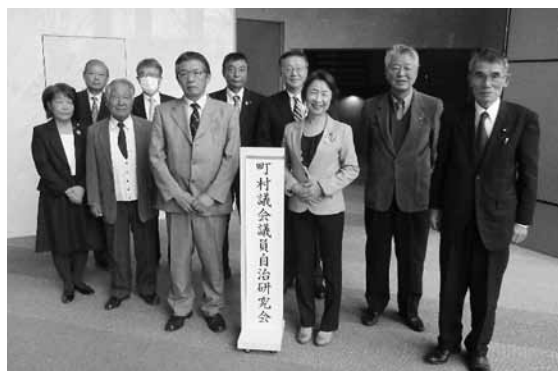
テーマ「地方の再生と日本の将来」

元鳥取県知事

早稲田大学公共経営大学院 教授

片山 善博 氏

1951年 岡山市生まれ、東京大学法学部卒
地方自治に関する著書を多数出版
「時事放談」「新報道2001」などテレビにも多数出演



委員会活動

総務産業建設常任委員会

令和2年2月4日（火）稲敷市にある稲敷土地改良事務所にて、利根町の基盤整備事業について概要説明を受けました。その後、本町の押付地区水防センターに行き、総務課職員による備蓄品の説明と水防センター施設の視察を行いました。



厚生文教常任委員会

令和2年1月24日（金）町内を循環する「福ちゃん号」に乗車し、内回り外回り2コースのルートや乗車状況などの視察を行いました。その後に、保健福祉センター会議室において、所長及び所長補佐から福ちゃん号に関する事業概要説明と委員による質疑が行われました。今後も利用者の福祉の増進が図れるよう調査研究してまいります。



令和2年度第9回利根町議会報告会の中止について

令和2年4月18日（土）に予定しておりました議会報告会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に鑑み、中止とさせていただきます。

また、利根町議会本会議及び委員会等についても、新型コロナウイルスの感染が収束に向うまでは、当面の間、継続して傍聴席の開放を自粛させていただきます。

傍聴再開の際は、町公式ホームページや情報メール等でお知らせいたします。

町民の皆様には、ご迷惑をおかけしますがご理解の程よろしくお願い申し上げます。

皆様が健康でお過ごしいただけますようお願い申し上げます。

利根町議会

利根町議会日誌（令和2年1・2・3月）

活動内容	
1月	
4	御用始め
8	第70回千鳥会
11	令和2年利根町消防出初式
〃	利根町PTA連絡協議会新年会
12	令和元年度利根町成人式典
14	令和元年度県南町村負担金審議委員会
15	令和元年度河内産養殖トラフグ試食会
16	令和2年度通常総会（利根町精工組合）
17	令和2年第1回役員会（町村長・議長合同会議）
20	議会運営委員会
〃	文小学校議場見学
23	茨城県国民健康保険運営協議会長会令和2年定期総会
24	厚生文教常任委員会
〃	議会広報編集委員会
27	全員協議会
28	令和2年第1回臨時会
〃	令和2年第1回臨時会（町村議会議長会議）
〃	令和2年第1回定例会（町村長・議長合同会議）
30	令和2年第1回組合議会定例会（茨城県市町村総合事務組合議会）
31	第13回利根町自治基本条例検討委員会
〃	社会福祉協議会役員・評議員研修会
2月	
4	総務産業建設常任委員会
6	令和元年度女性活躍推進トップセミナー

活動内容	
2月	
6	令和2年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
7	利根町教育委員会・利根町教育研究会研究発表会
〃	茨城県南水道企業団議会定例会
12	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会全員協議会
13	茨城県稲敷地方航空騒音公害対策協議会
16	第35回利根町駅伝大会
18	令和2年度予算内示会
〃	令和2年第1回龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
19	町村自治功労者表彰式（茨城県町村議会議長会）
20	令和元年度町村議会議員自治研究会
25	利根町社会福祉協議会総務部会
26	議会運営委員会
〃	令和2年第1回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会定例会
28	住民自治基本条例検討委員会
〃	令和2年第2回龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
〃	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会定例会
29	利根町文化協会第四部門合同発表会
3月	
2	令和2年第1回議会定例会（～18日）
23	令和元年度第2回利根町社会福祉協議会理事会
31	利根町社会福祉協議会評議員会

お知らせ

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町公式ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-6910

発行責任者／利根町議会議長 船川 京子

編集担当／石山 肖子・山崎 誠一郎